

1 函館市写真歴史館



明治42年(1909)建造の旧北海道庁函館支庁庁舎で、1階は観光案内所、2階は函館市写真歴史館となっている。コリント式の柱と建物の緑が、印象的に照らされている。

開館 9:00~19:00(11~3月は17:00)
入場料 大人200円 休 12月31日~1月1日

2 相馬株式会社



文久3年(1863)相馬哲平氏が米穀商を開業したものを祖とする北海道屈指の老舗企業の社屋。現在の社屋は、大正2年(1913)に建築されたもので、現在も現役活躍中。ペーパーミントグリーンの外壁がライトアップされ、昼間とは違った雰囲気を出している。

3 函館市北方民族資料館



旧日本銀行函館支店の建物で、現在はアイヌ民族などの北方民族の伝統的かつ固有の文化に関する貴重な資料が約350点展示されている。建物の特徴的な形を照らす灯りが幻想的。

開館 9:00~19:00(11~3月は17:00)
入場料 大人300円 休 不定休

ライトアップの点灯はおおむね日没から22時まで行っております。

4 カフェダイニングJOE



明治18年(1885)に建築されたかつての廻船問屋遠藤商店の店舗。レンガ積み漆喰塗りの白壁とアーチの装飾をライトアップが際立させている。

5 函館市臨海研究所



北海道最古の警察庁舎、映画「居酒屋兆治」にも登場した旧西警察署。現在の建物は、水産海洋に関する研究施設として再建されたもの。直線的なデザインがライトアップにより一段と際立っている。

6 太刀川家住宅・店舗



明治34年(1901)、米穀店を開く一方で回漕業を営んだ太刀川善吉により建築されたレンガ壁と漆喰で塗り込めた防火建築。現在はカフェとして活用され、国の重要文化財の重厚な雰囲気を誰でも楽しむことができる。漆喰塗りの白壁を照らす灯りが美しい。

7 大幸機動興業所社屋



大幸機動興業所社屋は、堤商会事務所として建築されたもの。大正期に建てられた木造3階建ての貴重な建物。ライトアップにより夜でも水色のお洒落な雰囲気を楽しむ事ができる。

きらめきのライトアップ 海辺編 ~歴史的建造物のライトアップを見ながらしっとり夜のまちあるき~

所要時間 60分 距離 1.7km 消費カロリー 180kcal ※消費カロリーはおおよその目安です。

